

2015年9月1日

報道関係各位

三菱地所株式会社

就業者数約23万人・日本を代表するオフィス街・丸の内

三菱地所総合防災訓練を実施

**多くの技術スタッフを擁する総合デベロッパーとして、建物危険度判定を実施
地域の医療機関ほかと連携した実践的な災害時医療連携訓練を実施**

三菱地所株式会社は、本日早朝より、東京・丸の内地区を中心に、全社員並びにグループ会社社員が参加する総合防災訓練を実施しました。本訓練は、当社の前身である三菱合資会社地所部が1923年（大正12年）の関東大震災時に、同年に竣工した旧丸ビルを中心に救護活動を行ったことを契機としており、今年で89回目（1926年（大正15年）より実施）を迎えます。

丸の内地区では、保有する約30棟のビルで東日本大震災クラスの地震発生を想定し、非常災害体制の発令により、全社員が災害対策要員として初動対応や安否確認、情報収集、資機材作動習熟訓練等を実施。三菱地所グループ社員約1,250名が訓練に参加しました。

本年度は、都心における防災対応力が益々求められている社会的背景を踏まえ負傷者・帰宅困難者対応に軸足を置き、三菱地所グループの技術力を結集した建物危険度判定訓練を実施したほか、危険度判定の結果、継続使用可能と判定された建物内で千代田区医師会や聖路加メディロークスと連携し負傷者対応訓練を実施。さらに新東京ビルにおいては所轄消防署や地元消防団と協働で大規模なビル総合防災訓練を行いました。

三菱地所は2012年に丸の内エリアにおける当社所有ビルのうち14棟について、帰宅困難者収容施設に関する協定を千代田区と締結しており、本年度ビル総合防災訓練を行った新東京ビルもその対象ビルの一つとなります。



新東京ビルでの建物危険度判定訓練



聖路加メディロークスにおける医療活動訓練

当社では、平素より独自の災害対策要綱を策定し、建物等の耐震化等の各種災害予防策のほか、非常用資機材の配備、食糧備蓄及び災害発生時の非常災害体制の編成等、ハード・ソフトの両面にわたって、大地震等の災害への対策を講じています。当社がエリアマネジメントをリードする丸の内地区では、今後とも、所轄消防署や各ビルのテナント企業の皆様の協力のもと、非常時にも十分な体制が構築できる安全・安心な街づくりを目指します。

< 2015年度の主な総合防災訓練内容 >

① 非常災害体制編成訓練（7：17～）

- ・東京湾北部を震源とする、東京中心部震度7の大地震を想定し、初動対応及び非常災害体制の編成訓練を実施。
- ・災害対策総本部を立ち上げ、各部署・グループ社員の安否や所管物件の被害状況を確認し、災害対策総本部へ情報を一元化する体制を構築。

② 建物危険度判定訓練（7：20～）

- ・地震発生後に建物の安全性及び継続使用可否を確認する建物危険度判定訓練を実施。
- ・現場スタッフの目視による1次診断を実施し、その後現場に駆けつけた三菱地所グループの専門技師が、1次診断および建物内に設置されたセンサーと連動したコンピューターの自動感知による被災度判定システム（東日本大震災以降順次導入）の判定結果を踏まえ、技術的な見地より2次診断・3次診断を実施。



建物危険度判定



被災度判定システム

③ 災害時医療連携体制をもとにした負傷者対応訓練（7：40～）

- ・建物危険度判定を基に継続使用可能と判断した建物で仮救護所を設営し、負傷者対応を実施。
- ・2013年9月に当社・東京駅周辺防災隣組と災害時医療連携に係る三者協定を結んだ千代田区医師会の医師・看護師が丸の内に駆けつけ、発生した負傷者等への初期対応として、怪我の処置の優先度を定める「トリアージ」を行いました。
- ・東京駅周辺防災隣組は、行幸通りに「災害情報ステーション」を設営。行幸通りをはじめとした地区内各所で仮救護所の設営についての案内を実施しました。
- ・大手町フィナンシャルシティ サウスタワー（以下、大手町フィナンシャルシティ）においては2013年11月に同じく災害時医療連携協定を結んだ聖路加メディローカス、アイン薬局と連携し、大手町フィナンシャルシティ1階アトリウムでのトリアージを行い、その後要救護者は大手町フィナンシャルシティ2階の聖路加メディローカスに搬送し、災害時医療活動訓練を行いました。この際、大手町フィナンシャルシティ管理組合から委託を受けたアイン薬局大手町店が備蓄する医療用医薬品（医療器具・薬品・調剤薬）を使用しました。



大手町ビルのトリアージスペース



大手町ビルから大手町フィナンシャルシティへの搬送

④ ビル総合防災訓練（新東京ビル消防演習）（10:00～）

- ・東京消防庁丸の内消防署・丸の内消防団等との共同訓練。
- ・地震発生後に、商業フロアで火災が発生したことを想定し、初期消火訓練、避難訓練等を実施した後、はしご車による逃げ遅れ者救出訓練や消防車による放水訓練等を実施。



はしご車による救出訓練



消火訓練（一斉放水）

以上

参考：丸の内における外国人就業者・来街者への防災対応

- ・負傷者への英語医療対応

大手町フィナンシャルシティに英語対応可能な「聖路加メディローカス」を誘致。海外からの赴任者・来街者が言葉の通じにくい日本で体調を崩した際の安心を平時より提供し、災害時にも英語でケアにあたります。

- ・防災に関する取り組みの英語動画制作

地震災害に不安を感じる外国人の方々へ、丸の内が提供する街全体での安全・安心について、防災訓練の様子も交えて紹介する動画を制作し、YouTube 丸の内チャンネルにて公開中。

<URL>

http://youtu.be/NM_oMPf1kHg

（日本語版はこちら）

<http://youtu.be/khNC9IZ1kug>

